



（梅林庭園設計事務所）
 〒193-0823 東京都
 八王子市横川町 1096-3
 TEL:042-622-8840
 VOL.13

古代の技法が今に！
 （版築の工法が蘇る）

中国では、堤防・城壁などに、土に石灰やワラなどを混ぜ、型に入れ突き固めたものが古代より用いられていた。これが版築といわれるもので、秦の始皇帝の陵墓や、あの万里の長城の城壁が特に有名です。この技法は、ほとんど化学製品を使わない自然由来のエコな点や土がもつ適度な調湿・調温機能が見直され研究が進み、日本でも、ようやく再評価されてきました。



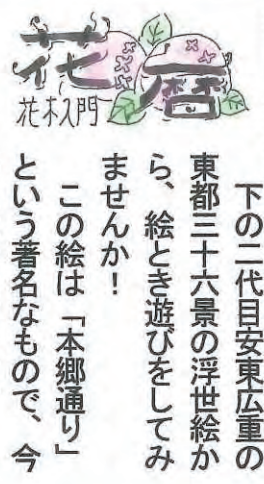
法隆寺の築地塀 (Wikipedia より転載)

日本で著名な例としては、法隆寺の築地塀が特に有名で美しい。

こんな事から、わが社でもA邸の土塀にこの工法を用いて製作させて頂いたのが、左の写真であります。改築前の名前入り瓦を活かして欲しいとの要望から、この立派な瓦に見合う構築物として『版築』を選択。古代技法を再現すべく最善を尽くしましたが、中国の粒子の細かい黄土が無いので、セメントを混ぜていた等の現代的な材料を用いました。



版築工法で製作した A邸 の土塀



下の二代目安東広重の東都三十六景の浮世絵から、絵とき遊びをしてみませんか！
 この絵は「本郷通り」という著名なもので、今の東大赤門前です。

では第一問。なぜ本郷という場所なのでしょう？

一つには、加賀藩の門前である等、この界隈は大名屋敷が多く植木屋にとっての得意先が多かった事。また明暦の大火の後、町の復興途上に於いて興った造園ブームで庭師や植木屋が増えた事。特に本郷は、当時の一大生産地。駒込に近いこと、この駒込には、ソメイヨシノで有名な染井村があった事でも解かります。

第二問。女性達がお弁当の重箱を持つているが何処へ行くところなのでしょう？

絵でもわかる様、桜の木が有るところをみると、当然、花見でしょう。本郷に近い花見の名所と云えば、八代將軍、吉宗が造った、現在の北区にある愛宕山と考えるのが順当な処ではないでしょうか！

こんな一枚の浮世絵から、昔を読み取る遊びも面白い。なお今の赤門前より道幅がいやに広く描かれているのは、火除けのために、町屋が取り払われたことに由来するのだそうです。



国立国会図書館デジタルコレクション より

天声樹話

そもそも街路樹は何の目的で植えられているのだろうか。
 毎年、秋から冬にかけて、あちこちで街路樹の剪定作業を良く目にする。その剪定たるや、枝先に葉を二〜三枚残し、みごと丸坊主である。

温暖化防止の為、空気汚染防止の為？ とすると何故という頭書の疑問になるのである。

街路樹の樹種はケヤキやイチヨウ、クスノキ等が多く、やたらと大きくなる木ばかりなのだ。

また、こんなに多く植えなくともと思うのは私ばかりではない。秋の紅葉を楽しむ、トウカエデ、ハナミズキ等も、紅葉を愛でる頃には、すっかり枝は落されている。掃除が面倒くさいとの声も、分からないでもないが相当の金を掛けて植え、金を掛けて切る。そろそろ一考すべき頃では。

（この文章は、著者の個人的な意見であり、必ずしも正しいとは限りません。また、この文章は、著者の個人的な意見であり、必ずしも正しいとは限りません。）